

平成14年12月6日付 日経金融新聞 掲載

新興企業 9月中間決算ランキング

経常増益率首位 シンワ

日本経済新聞社は新興企業向け三市場に上場する企業の二〇〇二年九月中間連結決算を対象にランキングを集計した。経常利益の増加率ではオーディオ部品のシンワ(6880)がトップ。売上高の増加率ではマンシヨンの販売のフージャースコーポレーション(8907)がトップになるなど不動産関連企業が上位に入った。

増収率フージャース

経常増益率で首位のシンワはDVD(デジタル多用用途ディスク)駆動装置用光ピックアップの販

順位	社名	経常増益率 (%)	経常利益 (百万円)
1	シンワ	300	1,784
2	フナ	219	2,629
3	東邦	208	1,226
4	ゲオ	208	2,556
5	アド	173	1,659
6	コア	168	1,094
7	原	160	1,520
8	郵	153	3,093
9	日本	151	1,608
10	藤	141	953
11	森	136	2,750
12	理想	133	1,147
13	フ	126	9,358
14	ヤク	118	780
15	フ	108	747
16	日本	103	1,400
17	グ	101	731
18	フ	98	1,320
19	ア	98	19,318
20	コア	97	1,155
21	ナ	84	1,038
22	桑	83	554
23	F	74	5,597
24	イト	71	563
25	ケ	62	563
26	レ	61	1,971
27	エ	60	858
28	扶	58	821
29	扶	56	511
30	生	49	857

順位	社名	売上高増収率 (%)	売上高 (百万円)
1	シンワ	409	6,509
2	マ	230	1,791
3	ユ	181	5,885
4	東	163	4,620
5	京	157	3,062
6	ナ	153	2,595
7	シ	148	1,466
8	コ	135	1,492
9	デ	123	19,005
10	イ	110	2,019
11	ア	99	1,296
12	フ	97	23,369
13	ヤ	96	2,489
14	松	92	2,814
15	T	90	2,024
16	日	88	4,798
17	ソ	86	11,450
18	第	83	33,695
19	一	82	20,186
20	建	75	34,729
21	ラ	73	4,535
22	富	69	6,858
23	日	68	5,107
24	ア	67	25,102
25	コ	67	2,668
26	コ	65	4,961
26	ペ	65	1,095
26	タ	65	854
29	コ	62	2,195
30	ベ	60	39,963

は利益率の高い中古ゲームソフトなどの販売が伸びたことに加え、主力のビデオやDVDレンタルも順調。経営不振企業の店舗を買収し、低コストでレンタル店に改装するなどして出店費用も抑えた。

ゲームソフトも好調で、コナミグループのソフト開発会社が三位、七位、二十位に入った。

増収率をみると、フージャースは普及タイプ、高級タイプなど価格帯の異なるブランドのマシヨンの幅広く顧客を開拓し、売上高は前年同期比五倍に伸びた。三位のデックスクロキ(888)は前期の販売計画分が今中期にずれ込んだこともあり、マンシヨンの販売が増えた。アーネストン(8895)はマンシヨンの戸建て販売がともに好調で、九位に入った。

大企業のリストラを受け、再就職支援ビジネスも好調。二位のビュー・マネジメント・ジャパン(4778)は電機メーカーなどから工場閉鎖や統廃合に伴い再就職支援の受注を拡大。日本ドレック・ヒーム・モリン(4688)も再編を進める金融機関などからの受注を伸ばした。

外食関連は全般に低調だったが、フードエック・ス・グループ(旧タリーズコーヒー)が二・一倍に拡大。701)は売上高を前年同期比二・一倍に拡大。パン類などコーヒー以外のメニューが伸び、客単価が上昇した。

ランキングはジャスタック(店頭)、オスダック・ジャパン、マザース上場企業が対象。連結決算を作成しない企業は単独を集計に加えた。